

## 指定管理者評価表

様式1

## 1 基本情報

<b>(1) 公の施設の名称</b>	
堺市立美原文化会館	
<b>(2) 施設の設置目的</b>	
市民文化の創造及び振興に寄与するため設置	
<b>(3) 所管部局</b>	
文化観光局 文化部 文化課	
<b>(4) 指定管理者名</b>	
公益財団法人堺市文化振興財団	
<b>(5) 指定期間</b>	
平成27年4月1日から平成32年3月31日まで（5年間）	
<b>(6) 主な事業</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること</li><li>・ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと</li><li>・施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること</li><li>・消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること</li><li>・市から貸与を受けた備品を適切に管理すること</li><li>・利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと</li><li>・自主事業に係る業務に関すること</li></ul>	
<b>(7) 有料施設の有無</b>	
有（利用料金制）	
<b>(8) 公募・非公募の別</b>	
公募	
<b>(9) 主な利用者</b>	<b>(10) 市内における受益対象者数</b>
市民	不特定多数
<b>(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標</b>	
SAYAKAホール	

## 2 管理運営状況

## (1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

堺市立美原文化会館運営委員会の設置など、地域コミュニティを大切にしながら事業展開を行い、市民ニーズを反映した管理運営を行っている。

## (2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者名	有限会社 南海ステージ	公益財団法人堺市文化 振興財団	公益財団法人堺市文化 振興財団	公益財団法人堺市文化 振興財団	公益財団法人堺市文化 振興財団
ア 利用者数 (人)	131,809	139,849	143,663	134,063	/
イ 稼働率 (%)	66.1	64.9	66.3	69.5	
ウ 利用者満足度 (%)	99.0	96.5	96.2	97	
「利用者サービス」における市による状況分析	利用者数は減少したが、稼働率と利用者満足度は増加傾向にある。				

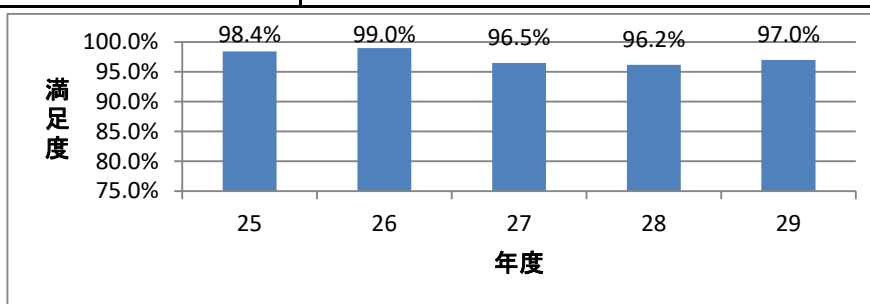
## (3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
ア 収入	指定管理料	95,534,000	86,694,348	87,300,000	87,300,000	87,300,000
	利用料金	22,646,290	22,532,600	22,718,910	22,678,060	23,150,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	289,567	2,201,906	2,199,013	4,408,478	7,194,000
合 計		118,469,857	111,428,854	112,217,923	114,386,538	117,644,000
イ 支出	人件費	47,416,887	32,589,936	32,566,284	26,640,486	26,186,000
	委託料 ( )内は総支出額 に占める委託料の割合	2,906,120 (2.4%)	18,777,420 (17.1%)	17,432,394 (15.8%)	19,920,524 (17.2%)	19,687,000 (16.7%)
	その他経費	68,340,758	58,459,914	60,025,275	68,938,779	71,771,000
合 計		118,663,765	109,827,270	110,023,953	115,499,789	117,644,000
利用者一人当たりの支出額		900	785	766	862	—
ウ 収支差額		-193,908	1,601,584	2,193,970	-1,113,251	0
エ 市への納付金の額		—	—	—	—	—
オ 徴収委託の場合 の徴収額		—	—	—	—	—
「収支状況」における市による状況分析	収入が見込んでいた金額に達しなかったため、収支については赤字となったものの、管理経費をはじめとしたコスト縮減を進めることにより、当初予算の支出額よりは抑えることができています。					

### 3 目標管理、評価等

#### (1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	満足度	(設定理由) サービスを受ける側の意見を把握するための指標の一つとして考えており、これにより施設のよりよい管理運営に努めるため。
	目標	90%以上	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	97.0%	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 目標を上回った。



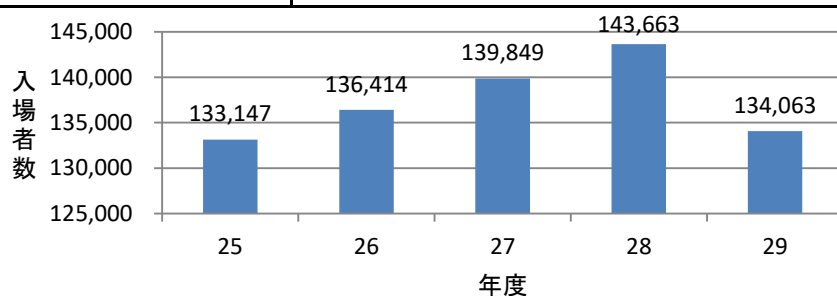
平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	点検結果報告書等による指摘箇所があれば早急に対処するなど、施設・設備の管理業務を十分に果たすよう努めた。
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし。

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	A	A	
	具体的な理由	施設、設備等を良好な状態で維持管理し、利用者に安全かつ快適に使用していただくよう努めた。	適宜丁寧な点検が行われ、不備等があれば市へ速やかに報告するとともに、迅速に対応しており、適正な管理運営が行われている。また、昨年度より講座室を区分利用から時間利用へと制度変更したことで、稼働率が向上していることも評価できる。	
対応策等	引き続き安全かつ快適な施設の維持に努めるとともに、利用者の利便に供するようソフト面での整備を進める。	今後とも積極的に利用者意見を把握し、適正な管理運営を確保されたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

## (2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	入場者数	(設定理由) 施設の利用し易さ、または施設で行う事業の魅力を反映しやすい指標の一つとして考えられるため。
	目標	113,000人	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	134,063人	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 目標値を大幅に上回る数値を達成した。



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	地域コミュニティにおいて会館事業の利用促進をはかるため、美原区自治連合会へ協力を求め、事業チラシの回覧を依頼した。
--	---

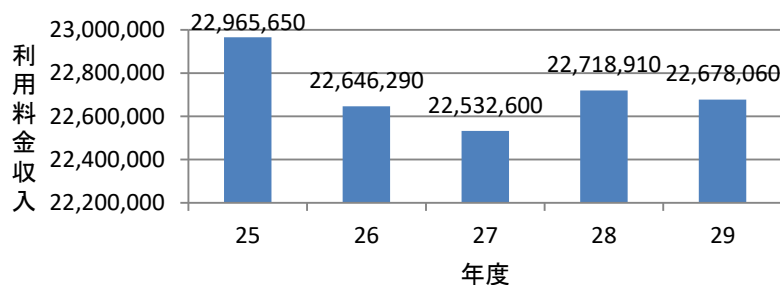
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	利用者ごとに室温調整の要望があるので、室温切り替えのタイミングを精査した上で細密な室温調整を行う等、可能な限り、利用者の要望に対応している。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	S	B	
	具体的な理由	文化芸術事業・自主事業の集客に苦戦したが、生涯学習施設の高稼働率に支えられ入館者数が増加した。	入場者数は昨年度に比べ減少したものの、ホールの稼働率を始め、全体の稼働率は増加しており、館の広報努力による成果と考えられる。	
対応策等	文化芸術事業等の企画・広報を速やかに進めることにより、集客力を高めることとする。	文化芸術振興事業や自主事業について、利用者のニーズを積極的に把握し、魅力的な事業の展開を通じた入場者数の増加を図りたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 指定管理者においてもの営業努力が反映されやすい指標の一つとして考えられるため。
	目標	23,150,000円	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	22,678,060円	(分析) 新規利用者の開拓が困難であり、文化芸術にかかる施設使用料、付帯設備使用料が減免対象となったこともあり、目標値に届かなかった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	稼働率が低かった講座室を平成28年度から時間単位で利用できる制度に変更したところ、稼働率が向上した。また、委託業務の業者選定や仕様書の見直しによりコストの削減を図った。
------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし。
-----------------------	-------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	文化芸術振興事業等の、施設使用料に結び付かない事業が増加したことなどから、予算額に達しなかった。	友の会やアルテメールを刊行し、広報に力を入れ利用促進を図っている。また経営効率を図るため、委託業務に競争原理を取り入れたり、仕様の見直しを行うことで予算額を抑えるなど、管理コストの削減に努めていることは評価できる。		
対応策等	利用単価の高い施設の利用を高めるべく、平日のホールの利用促進を図る。	リピーターや利用者の定着も見られるが、新規顧客の開拓や、利用者ニーズに応えた新たな取組を検討してもらいたい。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの